

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-181782

⑤ Int.Cl.⁴

A 23 L 2/38

識別記号

庁内整理番号

C-7235-4B

A-7235-4B

⑬ 公開 平成1年(1989)7月19日

審査請求 有 請求項の数 5 (全4頁)

⑭ 発明の名称 炭酸飲料

⑮ 特 願 昭63-54738

⑯ 出 願 昭63(1988)3月8日

優先権主張 ⑰ 1988年1月11日 ⑱ 韓国(KR) ⑲ 88-118

⑳ 発 明 者 金 聖 培 韓国慶南咸陽郡咸陽邑史隠里394-7

㉑ 出 願 人 金 聖 培 韓国慶南咸陽郡咸陽邑史隠里394-7

㉒ 代 理 人 弁理士 浅野 保男

明 細 書

1 発明の名称 炭 酸 飲 料

2 特許請求の範囲

1 本草学を基盤として口渴を解消し疲労を回復する効力をもつ漢方生薬材群より選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.2-5.0重量%と、健胃、強壮、強精の効力をもつ漢方生薬材群より選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.01-3.0重量%と、上記二種類の漢方生薬材とそのエキス相互間の刺激性のある味と特性を中和又は緩和する効力をもつ漢方生薬材群より選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.01-2.0重量%とを使用し、糖度5-20度の糖分、ガス用2-5の炭酸水と、要すれば天然又は合成着色料を添加した炭酸飲料

2 口渴を解消し疲労を回復させる効力をもつ漢方生薬材群が、葛根、苦参、蓮肉、五味子、烏梅

等であり、これらの中で選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.2-5.0重量%使用した請求項1記載の炭酸飲料

3 健胃、強壮、強精等の効力をもつ漢方生薬材群が桂皮、大黄、人参、决明子、黄蓮、黄芩、なつめ、陳皮、白朮、龍眼、当薬、生姜及び乾姜等であり、これらの中で選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.1-3.0重量%使用した請求項1記載の炭酸飲料

4 請求項2と請求項3記載の漢方生薬材群で使用了漢方生薬材相互間の刺激性ある味と特性を中和又は緩和させる効力をもつ漢方生薬材群が甘草、なつめ等であり、これらより選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.01-2.0重量%使用した請求項1記載の炭酸飲料

5 請求項2記載の漢方生薬材群に属する漢方生薬材エキスを飲料総量に対し葛根エキスの含有量が少く

とも70%以上である請求項1記載の炭酸飲料
3 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は新しい炭酸飲料に関するもので、更に具体的には本草学を基盤とする漢方生薬材より抽出したエキス類を主成分として使用した新しい炭酸飲料に関するものである。

〔従来の技術〕

従来の炭酸飲料は代表的にはサイダー、コーラ（「コカコーラ」登録商標）など周知のものがあ、これらは食品添加剤や合成香料で味と香りを与えその飲料水のもつ水分によって口の渇きを解消し、又疲労回復と飲用の習慣性のためにカフェインを使用しているものである。

〔発明が解決しようとする課題〕

本発明は従来のサイダーやコーラのように単純な清涼感だけを与える炭酸飲料とは違い、本草学を基盤として選択した何種類かの漢方生薬材より抽出濃縮したエキスを使用して自然的でしかも従来にない特有の味と香りをそなえ更に健康上にも有

を構成するうえで最も重要な要素の一で、人の運動や労働などによって体温が上昇し、多くの汗を出した後に生じる激しい渇きを解消し、緊張した筋肉を緩和するため疲労を効果的に回復するなどの効力をもつ葛根をはじめ、苦蓼、蓮肉、五味子、烏梅等の漢方生薬材であり、この中で選択した一又は二以上の混合エキス（固形分含量、50%）を飲料総量に対し0.2 - 5.0重量%を使用する。このように第一群に属する漢方生薬材エキス等の中でも特に本発明において葛根エキスの含有量を少なくとも70%以上になるように調節するのが重要なことで、それは本発明の目的を達成するにおいて最も適切な使用量である。

第二群に属する漢方生薬材とそのエキスは健胃、強壮、強精等の効力をもつ漢方生薬材等で、本発明を構成するにおいて補助材としての役割と効果を得るために使用されるものとして桂皮、大黃、人蔘、黃蓮、決明子、黃芩、陳皮、白朮、龍眼、當歸、生薑及び乾姜等の漢方生薬材で、この中で選択した一又は二以上の混合エキス（固形分含量

益な炭酸飲料とし、既存飲料においては飲用時にその含有水分によって口渇を解消する効力を有するとしたが、これらは激しい運動や労働後にくる体温の上昇と口渇とを同時に解決することはできない。激しい運動や労働後、特に夏期など多くの汗を出した後にくる体温の上昇と激しい渇きを爽快裡に効果的に解決できることが要求される所以とされる。又、従来のコーラのような炭酸飲料は疲労回復と飲用の習慣性のためにカフェインを使用しているがこれなしに疲労回復され非習慣性の炭酸飲料が望ましいことは云うまでもない。更には健胃、強壮、強精等保健性の視野からも併せてその効力を兼ね有するものの提供は現代社会に期待される課題として注目されるべきであらう。

〔課題を解決するための手段〕

そこで、本発明は本草学を基盤とした漢方生薬材のエキスを使用することによって上記課題を満足する炭酸飲料を提供するものである。本発明の構成は説明の便宜上次の3個群に分けられる。

第1群に属する漢方生薬材とそのエキスは本発明

50%)を飲料総量に対し0.01 - 3.0重量%を使用する。

次いで、第三群に属する漢方生薬材とそのエキスは上記第一群と第二群の漢方正薬材とそのエキス相互間の別載性のある味と特性を中和又は緩和させる効力を持つもので、甘草、なつめ等とし、これらのエキス（固形分含量50%）を飲料総量に対して0.01 - 2.0重量%使用する。

本発明で使用するこれらの漢方生薬材エキスはいづれもアルコール抽出法、水浸抽出法、機械的圧着法等により抽出した成分を常圧又は減圧し、固形分含量50%になるように調節濃縮したものを使用するものである。又、本発明で使用する炭酸水(Carbonated-water)は液体炭酸を3 - 4℃から精製水に溶解し、炭酸化させ2 - 5ガス用(Volumes of Carbon Dioxide)の炭酸度をもつ炭酸水を飲料総量に対し70 - 90重量パーセントを使用する。なお又、使用される糖分は砂糖、ブドウ糖、麦芽糖、乳糖、水あめ、蜂蜜等であり、この他にも必要に応じて法の許容する各種の合成甘味料等

は一部使用することもあり、糖度の範囲は5-20度とする。更に飲料の着色が必要な場合はキャラメルを使用、場合によっては法が許容する異なる天然及び合成着色料を使用するものとする。

〔作 用〕

本発明は本草学に基礎とする漢方生薬材より抽出したエキス類を主成分とすることは既述の通りで、葛根エキスが特に重要な存在意義を有している。而して第一群に属する漢方生薬材とそのエキスにおいて、その味と香りは従来になく特有性があり誰にでも親しみ易い嗜好性に富んだ性質を備えその成分が体内に吸収され激しい運動や労働によって生ずる口渴や疲労乃至は体温上昇に対して清涼、解熱の効果的な作用が働き、緊張した筋肉を緩和させるものであって従来のコーラのと違い非習慣性の飲料として機能するものである。

又、第二群に属する漢方生薬材とそのエキスは本発明の主成分となる第一群に属するものに対して補助材的機能を果すもので健胃、強壮、強精等の効力を齎すことは既述の通りである。

実施例1と同様な製造方法を施す。

〔実 施 例 3〕

葛根エキス1.0%、五味子エキス0.08%、桂皮エキス0.05%、決明子エキス0.03%、生薬エキス0.06%、甘草エキス0.08%、水あめ17%、キャラメル0.2%、炭酸水81.5%

漢方生薬材エキス等を水あめ及びキャラメル溶液に添加し、逆流冷却機が附設される容器の中で100℃の温度で40分間処理したものを4℃に冷却した後4℃のガス用3.0の炭酸水に注入したものをガラス瓶又はプラスチック瓶に充填し本発明の新しい炭酸飲料を製造する。

〔実 施 例 4〕

葛根エキス2.2%、苦参エキス0.1%、黄芩エキス0.03%、生薬エキス0.1%、桂皮エキス0.02%、なつめエキス0.15%、蜂蜜7%、砂糖8%、炭酸水82.4%に対して実施例3と同様な製造方法を施す。

〔発明の効果〕

本発明は上記のように東洋医学上、本草学を基盤

これら第一群、第二群の漢方生薬材とそのエキスに対して両者の刺激性の味と夫々の特性を中和させる役割を果すものが第三群の漢方生薬材とそのエキスである。

これら第一乃至、三群の漢方生薬材エキスは所定の炭酸水と糖分との添加混合によって渾然一体化されて所期の新しい炭酸飲料として供用されるものである。

〔実 施 例 1〕

葛根エキス0.7%、生薬エキス0.07%、甘草エキス0.13%、砂糖13%、炭酸水86%、漢方生薬材エキス等を砂糖シロップ溶液に添加し98℃で60分間熱処理したものを冷却し3℃に維持した後、ガス用3.5の炭酸水に注入し、ガラス瓶又はプラスチック瓶に充填し、本発明の新しい炭酸飲料を製造する。

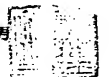
〔実 施 例 2〕

葛根エキス0.7%、人参エキス0.05%、なつめエキス0.05%、生薬エキス0.05%、グルコース7%、砂糖8%、炭酸水84.15%に対して実

として口渴を解消し疲労を回復する効力をもつ漢方生薬材エキスと健胃、強壮、強精の効力をもつ漢方生薬材エキスと、これら漢方生薬材エキスを相互に中和又は緩和する効力をもつ漢方生薬材エキスを使用して炭酸水、糖分と混合一体的に溶解された炭酸飲料であるから、各種エキスに含有される特性が適当に中和又は緩和されて、しかもその味と香りは自然的で誰にでも親しみ易く嗜好性に富み激しい運動や労働などによる渴きを解消し体温の上昇を安定させる効果は大きく、カフェインを使用しないから習慣性に陥る心配もなく疲労回復できる上に健胃、強壮、強精等の保健性も高度で新しい炭酸飲料として、きわめて高く評価しうるものである。

特許出願人 金 聖 培

代 理 人 浅 野 保 男



手続補正書 (自発)

昭和63年4月30日

特許庁長官 小川 邦夫 殿

1 事件の表示

昭和63年特許願第154738号

2 発明の名称 炭酸飲料

3 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所

氏 名 金 聖 塔

4 代 理 人

住 所 静岡県浜松市鶴江3丁目11番25号

氏 名 4973 井理士 浅 野 保 男

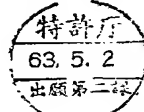
5 補正命令の日付 (自発補正)

6 補正の対象

明細書中、2.特許請求の範囲及び3.発明の詳細な説明の欄

7 補正の内容

(1) 特許請求の範囲中、請求項1及び3を別紙の通り補正する。



特許請求の範囲

- 1 本草学を基盤として口渴を解消し疲労を回復する効力をもつ漢方生薬材群より選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.2-5.0重量%と、健胃、強壯、強精の効力をもつ漢方生薬材群より選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.01-3.0重量%と、上記二種類の漢方生薬材とそのエキス相互間の刺激性のある味と特性を中和又は緩和する効力をもつ漢方生薬材群より選択製造した一又は二以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキスを飲料総量に対し0.01-2.0重量%とを使用し、糖度5-20度の糖分、ガス容2-5の炭酸水と、要すれば天然又は合成着色料を添加した炭酸飲料
- 3 健胃、強壯、強精等の効力をもつ漢方生薬材群が桂皮、大黃、人蔘、決明子、黃連、黃芩、なつめ、陳皮、白朮、龍膽、当薬、生姜及び乾姜等であり、これらの中で選択製造した一又は二

(2) 明細書第5頁第18行目「白朮」とあるを、「白朮」と補正する。

同第6頁第4行目「漢方正薬材」とあるを、「漢方生薬材」と、同頁第11行目「減圧し」とあるを、「減圧の下で」とそれぞれ補正する。

同第6頁第15行目、第8頁第14行目、第9頁第10行目「ガス用」とあるを、それぞれ「ガス容」と補正する。

同第9頁第12行目「炭酸飲料」とあるを「炭酸飲料」と補正する。

以上の混合した固形分含量50%の濃縮エキ스가飲料総量に対し0.1-3.0重量%使用した請求項1記載の炭酸飲料